

パキスタンあれこれ (2) ～ イスラマバードの金曜市場

以前、第6号でシリア・ダマスカスのスーク・ジュマを紹介したが、今回はパキスタンのジュマ・バザール（金曜市場）です。ジュマは金曜日、バザールは市場で、文字通り休日の金曜日だけ開かれるマーケットのことである（ダマスカスの場合は金曜日以外も開いている常設のスークのようですが...）。写真はパキスタンの首都イスラマバードで見かけたもので、Holiday Inn Hotel（数年前までは Islamabad Hotel という名前だった）から歩いて数分の所にある。

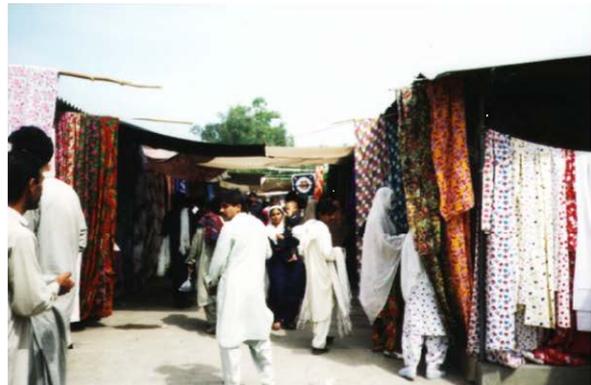
ここは、ふだんは何もなくながらんとしているが、毎週金曜日になるとテント屋根のいろいろな店が並ぶ。ちょうど、日本でも日曜日等にみられるフリーマーケットによく似ている。主に野菜や果物の店が多いが、そのほかスパイスや衣類、おもちゃ、雑貨等も売っている。衣類、雑貨等はコンクリートで間仕切りされたブースに、野菜や果物はその隣の空き地にそれぞれの店が開く。

季節によって変わるが、主な野菜類はタマネギ、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン、ナス、キュウリ、スイカ、キャベツ、カリフラワー、ホウレンソウ、トマト、オクラ、トウガラシ等である。果物ではマンゴー、パパイヤ、オレンジ、ライム、バナナ、リンゴ、アプリコット、ザクロ等々。まれにイチゴもみられる。また、パキスタン料理になくてはならない香辛料は、写真にあるように粉にしたものを円錐状に山盛りにして売っている。

イスラム圏におけるスーク・ジュマは各地に見られるもので、ここは都市・農村・沙漠を結ぶ人・物・情報のネットワークとして機能している。ここに来れば、地域の文化や伝統の一端をかいま見ることができ、我々の現地調査にとっても有益な情報が得られることも多い。



カリフラワー売りのおじさん



女性用のショールの店



いろいろなスパイス



リンゴ、パパイヤ、メロンなどの果物